

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314

かさおか



初代の心にかえり信仰の喜びを
深めよう 伝えよう 広げよう

- 一、持ち場立場で日々理作り
- 一、家族揃って教会参拝
- 一、一日一件にをいがけ

立教173年
9月号

** 天理時報の普及活用を **

各教会 2部 増部 目標に

— 布教推進講習会開催 —

大教会では8月21日、田中勇一先生(本部布教部ひのきしん課長)を講師に迎え、月次祭祭典後に「布教推進講習会」を開催、約250人が参加した。

本部布教部と道友社がおたすけ活動の一環として天理時報の積極的な普及活用と、手配り活動を通してよふぼくネットワークづくりを呼びかけている。大教会でも創立120周年に向けての活動の一つとして天理時報の活用を通してつながる一人ひとりの布教意欲の向上を図る上から開かれたもの。



田中先生は時報の活用の重要性とおたすけ活動の更なる推進を話された

田中先生は「信仰と天理時報」をテーマに、まず「天理時報はさわやかなおちばの風を運び、読む人の心に感動を与え、おちばからの手紙のようなものである。また直面する現在の諸問題が取り上げられ、おたすけの手立てとなる。一人でも多くの用木、信者宅で十分に活用して頂きたい」と天理時報の活用方法の重要性を強く呼びかけられた。

次いで自身のこれまでの体験を通し「つとめさづけ・おちばの理を通して、鮮やかなご守護は遠く地の果てまで及ぶ」と親神様、教祖の不思議なお働きを話され、更に「大教会創立120周年を迎える心は『にをいがけ・おたすけ』しかない」と

強調。「にをいがけ・おたすけは何のためにするのかといえ、心の埃を払うためにさせて頂く。そして神様がホウキとなって働いて下さる」と結ばれた。

大教会では、講習会を受け天理時報を通じたおたすけ活動の更なる推進を目指し、各教会2部増部を打ち出した。

《講話の要旨は次号に掲載》

立教173年 学生生徒修養会 高校の部 開催

8月9日より15日までおちばにおいて恒例の「学生生徒修養会高校の部」が開催され大教会からは9名の学生が参加しました。始まる前は不安と緊張に包まれながらも、1週間たつとみんな「来てよかった」「楽しかった」「お道の話も教えたてよかったです」「楽しかった」「お道の話も教えたてよかったです」「すごく充実していた」等々の感想が寄せられました。わずか1週間で学生たちをこれだけ劇的に変える行事は恐らく他にはないと思われまます。来年は心定め(30人)以上の大勢の参加者を期待します。全体の修了者数は1405名(男子625名・女子780名)でした。尚参加者は以下の通りです。

- ① 山本裕三(吸江・高3) ② 住川裕貴(三郡・高3)
- ③ 占部南々帆(真金・高3) ④ 猪原早紀(真金・高2)

- ⑤北川真生(稲倉・高2)⑥高石かれん(鶴眞・高2)
 ⑦頼経 文(鶴眞・高2)⑧吉岡智夏(興明・高1)⑨
 杉本葉月(新輝豊・高1)

(学生担当委員長 吉岡 誠一郎)

学修・高校の部に参加して

興明分教会 吉岡智夏(高1)

私は学生生徒修養会に一回生として参加しました。私が一週間を通して感じたことは、「人は一人では生きていけない」ということです。

一回生の主な活動内容は、朝・夕のおつとめ参拝、講師によるレクチャー、おつとめの練習、ひのきしん、班対抗のゲームなどです。その中でも、ひのきしんと班対抗のゲームではとても盛り上がり、一手一つにつとめることができました。ひのきしんも班対抗ゲームも班員同士が助け合うことが出来たから成功したんだと思いました。

「学修」修了後は何とも言えない達成感を味わうことが出来ました。同時に私に「学修」を紹介して下さった会長さんと参加費用を出してくれた父母への感謝の気持ちでいっぱいになりました。普段当たり前だと思っていたことも、私以外の人と親神様のおはたらきがあつてこそだと思えました。来年の夏も「学修」に参加して素晴らしい体験をしたいと思えます。

室戸青少年自然の家で

キャンプ開催 少年会笠岡団

今年のキャンプは国立室戸青少年自然の家キャンプ場で行われました。

22日の朝の出発式には育成会長さまより「自然を甘くみてはいけません、自然と共生しているという体験をしてください。」とお話いただき、参拝後マイクロバスとワゴン車の二台に分乗し予定どおり9時に大教会を出発しました。

コースは山陽道、瀬戸中央道、高知道と進み南国ICから国道をしばらく走るとバスの右手に碧く光る太平洋がはるか彼方の水平線まで見え、子供たちの歓声が上がりました。途中のSAで各自持参の弁当を食べ再び走ること二時間少々、山の上の自然の家に到着。

係員のヒロポン兄さん(ニックネーム)から生活やキャンプについての楽しい説明を受け二泊三日のスケジュールにそつて、飯ごう炊爨、暗闇探検、シュノーケリング、シーカヤック、キャンプファイアーなど盛りだくさん(内容は子供たちの感想文を参考にして下さい)にと始まりました。

二年ぶりのキャンプでしたが施設や天気恵まれけがもなく無事に24日の午後3時半に大教会に到着しました。

数えて今回で14回目となるキャンプは火・水・風

のご守護を実感することをメインテーマに取り組みましたが、森に囲まれたテントで泊まり、朝は小鳥や風の音でめざめ、暗い内から海辺に行き眠い目をこすりながら岩の上で水平線から上がる太陽の光を全身に受け、昼間は海の学習、夜はファイアーなど大自然との共生を体験することが出来たと思います。

そして子供たちから、また来年も参加したいという声を多く聞くことが出来たらスタッフ一同益々勇んで来年も野外活動に力を入れることを約束いたします。ありがとうございました。

(少年会団長 中島 誠 治)

「感謝」を学びました

直轄 大原 悠太郎

小学生の頃、こどもおぢばがえりに参加していましたが今年は参加できず残念に思ったところ祖父からキャンプがあると聞き友達二人を誘って参加することにしました。

このキャンプで一番楽しかったのはシーカヤックやシュノーケリングをしたことです。

カヤックは自分の行きたい方向に行くのは難しくて上達出来ず残念でしたが友達と楽しく過ごすことができました。シュノーケリングでは普段の生活では見ることの難しい生物に出会えました。

特にクマノミなどの魚がとでもきれいでした。みんなですき焼きをして食べたのも良かったです。火をおこすのは簡単じゃないんだなあと思いました。いつも普通に使っている火や水なども親神様、おやさま、みたま様のおかげと思うとすごく感謝しなければいけないんだなあとキャンプファイアの時学びました。

山と海に囲まれたところでの3日間はずごく良い経験になりました。ほんとうにこの3日間ありがとうございました。

ぐざいました。来年も友達と参加したいです。みな様のご健康をお祈りします。

初めて行ったキャンプ

興明分教会 吉岡はるか(小5)
私は、今年、初めて少年会のキャンプに参加しました。

初日は、班のみんなで夕食を作ったり、夜の山道を歩いたりして班のみんなと仲良くなりました。夜は楽

こころの詩

▼養徳社発行『陽気』誌、「道柳」より転載

▽笠岡に繋がる教友の方が選ばれ掲載されていきましたので転載させて頂きます。おめでとうございます。

東悠分教会前会長夫人 田林 美智子
・八月号、課題は「感」、佳詠。

涼感やお言葉ゆれる南部鈴

・九月号、課題は「思」、淮秀詠。

思い出の地場は青空歡喜沸く

▼表紙の絵

神辺分教会 よふぼく 小坂道利さん

しくておそくまでお話をしていました。

二日目は、初体験のシュノーケリングとシーカヤックなど、とっても楽しい行事がありました。日本海や瀬戸内海にはいない生物やキケンな生物がいました。浜には、たくさんサンゴの化石がありました。シュノーケリングで鼻や口の中に塩水が入ってきたり何度もマスクが外れたりして大変でした。体中がとても痛かったです。海をのぞいてみると、魚やウニ、四く五種類の生物が見られました。きれいでにげるのものはやくて驚きました。シーカヤックでは、友達と仲良く協力して一生懸命こぎました。とてもつかれたけどたくさんこぎました。

このように助け合って、協力することの大切さがよくわかりました。最後に競争したときに少しの差で負け二位になり、すごく悔しかったです。私は家の都合で二日目に帰りましたが、参加できて良かったです。また来年も参加したいです。

・原・稿・募・集・

内 容

①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介 ③俳句・和歌・川柳 ④教会行事開催後の報告記事 等々

字 数

1000字前後(800字~1200字) 題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。俳句等は1句からでも結構です。

寄 稿 先

下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。



郵便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377

FAX：0865-66-1314

メール：tenkasa@yahoo.co.jp

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。



8交代でつとめられたおつとめまなび

婦人会笠岡支部女子青年(上原宏恵委員長)は8月22日、大教会で「女子青年の集い」を開催、127人(女子青年92人、婦人会他35人)が参加した。

おつとめを通しての仲間作りと、一人でも多くの笠岡につながる女子青年に集まって楽しんでもらいたいという枝廣千香前委員長の思いを受け継

部属分会委員長練成会開催 青年会笠岡分会

去る8月29日、青年会笠岡分会では、「部属分会委員長練成会」を開催し、59人が参加しました。この練成会は、部属分会(教会)委員長としての自覚を促す事などを目的にしていますが、それに加え、笠岡分会では、主に青年会員同士の親睦を主眼において開催いたしました。

当日は、青年会本部より、上村知孝委員にお越しいただき、ビデオ上映、グループタイム、上村委員のお話などのプログラムで進行了ました。特に、グループタイムでは、普段会うことがなかつ



自らの体験談を交え熱心に語る上村委員



ウォーミングアップで緊張をほぐす受講者

たり、初めて会話をする者同士が、6人1グループとなり、自分の信仰や、青年会活動などをテーマに、率直に熱く語り合っていました。

午後からは、グループ毎に七輪を囲んでの親睦



七輪を囲んで親睦を深めた

絆を深めました。

笠岡分会としては、来年度以降もこのような練成会を開催していきたいと考えております。しかし、この度の部属委員長出席率は、2割強にとどまっております。会活動を進めていくにあたり、委員長さん方や、会員さんへの声かけは必須であります。我々青年会だけでなく皆様方からも、尚一層の声かけをよろしく願いたします。

(青年会委員長 上原 繁次)

練成会に参加して

吸江分教会 西村 昌平

この度、初めて部属分会委員長練成会に参加させていただきました。笠岡につながる、普段はあまり接する機会のないお道の青年会員で交流できるのを楽しみに、心勇んで大教会へ向かいました。まず始めに、ビデオ上映がありました。3人の方の青年会活動の実践を見せていただき、行動を起こすことの大切さと勇気をもらいました。自分も、声掛けなどできることから始めてみようと思いました。そのビデオを見ての感想をもとに、次のグループトークが始まりました。話し合いでは、仕事とお道の両立、後継者のこと、青年会をどう盛り上げていくかなど、日頃の悩みやお道への思いをお互いに話し聴き合うことができました。お昼の親睦会の焼き肉もとても楽しかったです。今回、このように同年代のつながりをもてたことは、今後の青年会活動の大きな支えになると思います。交流の場をありがとうございました。

練成会に続いて 全分会布教推進週間に突入

青年会笠岡分会では、8月29日から9月5日までを、全分会布教推進週間とし、それぞれの分会、ブロックで活動を展開しました。

その中、キャラバン隊は、笠岡、福山、府中市内の活動に加え、3日には、広島市内で、5日は、因島・向島方面でにいがけを行いました。

広島では、布教の家広島寮で十二下りをつとめた後、市内中心部で神名流し、路傍講演、てをどり、おさづけの取次ぎをさせていただきました。



広島城下に響く神名

また、因島・向島では、炎天下の下、ほぼ一日中布教活動に汗を流すことができました。この『全分会分会布教推進週間』は、文字通



道行く人に信仰を語る路傍講演

り全ての分会(教会)で、布教活動をする一週間です。青年会員がおられない分会は、会員層以外の方が、活動をよろしく願います。また路傍講演、神名流しに気が進まない分会は、ひのきしん活動などでも構いませんので、来年以降どうかよろしく願います。

最後に、本年も全分会布教推進週間に協力頂きました。誠にありがとうございました。

誌面をお借りしまして、お礼申し上げます。

(青年会委員長 上原 繁次)

修養科終了後の声



人生の勉強

松都分教会 糸川 道之

修養科を修了して振り返ってみますと、修養科にて人生の通り方、陽気ぐらしについてしっかりと勉強をさせていただいたように思います。

修養科へ出発する際、米府分教会の前会長様より「人生の勉強をしなさい」とのお言葉があり、その時は、そのお言葉の意味がよくわからなかったですが、修養科での三ヶ月を通して来てみて、人生の勉強の意味がよくわかりました。

私は二月に個人の都合により約十五年勤めていた会社を退職し、求職中でしたが、松都分教会の五月の月次祭の時に米府分教会の会長様よりお誘いいただき、六月からの修養科に志願しました。

入学当初はおつとめ、特にお手振りをしっかり学ぼうと思っておりましたが、修養科で過ごすうちに、自然とひのきしんやおさづけの取次ぎも積極的にさせていただけようと思えました。修養科の授業が終わった後、時間があればおつとめと回廊のぞう

きんがけをさせていただきました。おさづけの取次ぎは、身上者のお世話取りをさせていただいたときに二回ほどさせていただきました。他にも同じ組の身上者の方に声をかけて、おさづけの取次ぎをさせていただこうと思うことが数回ありましたが、声をかけることはできても、おさづけの取次ぎまではできませんでした。もう少し勇気が必要であったと思います。

こどもおぢばがえりの期間中は炊事本部のひのきしんをさせていただきました。炊事本部では勤務者の方、専修科生の方などいろいろな持ち場、立場の方がおられるせいか、また、私も一般の会社にも勤めていたこともあり、途中、慣れてくると作業の効率について気づき、もっとこうしたら良い、こんなに人数が要らないのではなどと不足に思うことがありました。しかし、作業を日々繰り返すうちに、不足に思うのでなく、各々の持ち場、立場を理解し、思いやりを持って、協力しあって、互いにたすけ合うことが必要であると感じました。このことは、今後の人生を送る上にも大切なことであると思います。

修養科に入学する前はおつとめ、ひのきしん、にをいがけおさづけについては多少理解していた程度ですが、修養科三ヶ月を通して来てみて、各々の深い意味に加えて、教理および教祖のひながたを学ぶことができました。さらに、各々の内容だ

けでなく、それらの目的である互いにたすけあうこと、陽気ぐらしについても学ぶことができたと思います。入学当初思っていた以上の事を気づかせていただき、人生の通り方について学ぶことができたのも、おぢばで親神様、教祖のやさしい親心をいただいたからであると感じています。また、修養科で、八百三十期の皆さん、特に同じ組の方と良い思い出ができました。私にとって修養科で出会った教友はかけがえのない人生最高の財産だと感じています。

修養科終了後は一般の会社に再就職する予定ですが、信仰の上では、修養科で学んだ、互いにたすけ合うことの大切さ、おさづけの尊さを常に心におき、今まで以上に、時間があれば教会のご用をさせていただき、また、少しずつですがにをいがけ、おたすけを通して積極的に人だすけにつとめさせていただこうと思います。さらに、松都分教会の毎月の月次祭のおつとめに参加できるようにご守護をいただきたいと思えます。

最後に、修養科三ヶ月を無事に通らせていただきましたのも、大教会長様を始め、各教会長様、詰所の主任先生を始め事務所の先生方、教養主任および助員の先生方、そして修養科の先生方のご支援、ご指導のおかげだと思います。本当にありがとうございました。

修養科を終えて

直轄 伊藤 美保子

二年半前に脳腫瘍という身上を御守護頂き、今回お礼の為修養科へ行かせて頂きました。二度目ではありましたが、色々な不安を抱えての事でした。

歩く事に不安は有りませんでした、朝起きる事やものを考えたり、覚えたりする事に自信は有りませんでした。ひのきしんでは皆についていくだけで精一杯でした。

頭に汗がにじむと傷口が痛みましたが、朝晩の皆様のおさづけのおかげでたいしたこと無く無事に三ヶ月終える事が出来ました。右目は御守護いただけませんでした、おさづけは本当に不思議です。同期の織田さんの腰へのおさづけを取り次がせていただいていた時、主人も腰痛で苦しんでいたのでもしと申すに、主人も腰痛で苦しんでいたので申し訳なく思いながら主人の事も願わせていただきました。上原志郎先生と義姉に親神様をお願いして下さる様に頼みました。お陰で立ち上がって少しは動けるようになったようです。入院していた時、同室の家では腰の痛みの為眠れなかった方にカーテン越しに取り次がさせていたいただいたら、しばらくしてとうとうと眠り始められました。自分に取次げない事

が残念ですが、具合が悪いと其処に手を置いておさづけと同じようにさすって唱えている自分がいま。そうすると楽になるのです。

教科書を読むのが辛かったし試験で覚えるように言われたところとか女鳴り物を覚えられなかったのですが、たまに間違えてしまいますがよろぶよ八首と十二下りのお手を振れるようになったので良かったと思います。でも回る回数が多いと頭がくらくらとするのがわかりました。大教会長様と一緒に十二下り踊れたことが、とっても嬉しかったです。

三ヶ月はあっという間に過ぎてしまいました、三ヶ月目に事情が発生してしまいました。修養科の鶴棹先生に話を聞いていただき、根気よくつなげていくようにと助言をいただきました。大教会で上原順子奥さんや岡崎和夫先生と話をして元気をもらい、少し身持ちが楽になりました。嬉しかった事は、息子が二度会いに来てくれ、電話もかけてきてくれた事です。

家に帰ってからは今までどおり一番近い大県大教会へ参拝させていただき、あとリーフレットを配らせて頂く事を再開させていただこうと思っております。

お世話になった詰所の先生方、教養掛の先生方、すべての方々に感謝いたしております。本当にありがとうございます。

◆第86回天理教青年会総会

式典 10月27日(水) 午前10時 本部中庭
前夜祭 10月26日(火) 夕づとめ後 東西泉水プール前広場

1人でも多くの参加をよろしくお願いいたします!

*10月26日の夜に、大教会から便を出します。詳しくは、上原繁次(陶山分教会)まで。

◆第38回全教野球大会 笠岡ワールドブラザーズよりおしらせ

【日時】 10月28日(木) 午前8時30分
【会場】 白川グラウンド

1回戦 笠岡大教会(岡山代表) × 電気課(親里代表)

*熱い応援よろしくお願いいたします。

こどもおぢばがえり詰所クイズ

小学校低学年向け

Q 1. 坂本龍馬(さかもとりようま)はどれ?

- 1.
- 2.



- 3.
- 4.



【答】 2

Q 2. 「ジャックとまめの木」でジャックがまめを手に入れるためにこうかんしたどうぶつは?

【答】 うし

Q 3. 「7ひきの子ヤギ」ではお母さんヤギにばけ、「赤ずきん」ではおばあさんにばけたどうぶつはなに?

【答】 オオカミ

Q 4. うえからよんでもしたからよんでもおな

じなまえのおみせなあに?

【答】 やおや

Q 5. 親神様おやがみさまのおなまえは「○○○○○○○○○○」

さまともうしあげます。

【答】 てんりおうのみこと

Q 6. くびはくびでもくちからでるくびってなあに?

【答】 あくび

Q 7. 次の()に入ることはどれ?

ドアを()とかるくノックする。

1. こんこん
2. こんごん
3. どんどん
4. おんおん

【答】 1. こんこん

Q 8. とられてしまうのになっこりわらうのはなあに?

【答】 しゃしん

Q 9. いすはいすでもつめたくておいしいすはなあに?

【答】 あいす

Q 10. かみ、はさみ、いしを使う遊びってなあに?

【答】 じゃんけん

小学校高学年

Q 1. 坂本龍馬(さかもとりようま)が弟子入りした、左の人物はだれ?



1. 勝 海舟(かつかいしゅう)
2. 吉田松陰(よしだしょういん)
3. 宮本武蔵(みやもとむさし)
4. 松尾芭蕉(まつおばしょう)

【答】 1. 勝 海舟

Q 2. 次の()に入る擬音語(ぎおんご)はどれ? 漫画(まんが)を読んで、大声で()笑う。

1. へらへら
2. くすくす
3. げらげら
4. だらだら

【答】 3. げらげら

Q 3. 千は0が3つ、億は0が8つ。では兆は0がいくつ?

【答】 12個

Q 4. マラソンで走る距離は何キロでしょうか?

【答】 42. 195 km

Q 5. 強い人でもここが弱点といわれるむこうず

ね、一般に「何の泣き所」というでしょう?

【答】 弁慶

Q 6. ラジオ体操第1で最後に行なう運動は何でしょう?

【答】 深呼吸

Q 7. 「手のひらを太陽に」の1番の歌詞で生きている友達のみみず、おけらと何?

【答】 あめんぼ

Q 8. おふるにはいるときはつかわないでおふるにはいらないうきにはつかうものってなあに?

【答】 おふるのふた

【答】 おふるのふた

Q 9. ねるときに必要なのにじゃまと言われるものってなあに?

【答】 パジャマ

Q 10. おすもうさんがからだにつけている「わし」ってなあに?

【答】 まわし

中学生

Q 1. 坂本龍馬(さかもとりょうま)が仲立ちして作った同盟(どうめい)はどれ?

1. 日英同盟 2. 清洲同盟

3. 日米同盟 4. 薩長同盟

【答】 4. 薩長同盟

Q 2. 次のうち、坂本龍馬(さかもとりょうま)が日本で初めて行(おこな)ったと言われていることはどれ?

1. 新婚旅行 2. 年賀状

3. 遺言 4. 野球

【答】 1. 新婚旅行

Q 3. 次の()に入る擬音語(ぎおんご)はどれ? 友達が力なく()泣きだした。

1. しくしく 2. わんわん

3. おいおい 4. えんえん

【答】 1. しくしく

Q 4. やけどするほど熱い木は?

【答】 ヒノキ

Q 5. たくさん幸せがつまってるお菓子は?

【答】 大福、(かろうじてハッピーターンも

Q 6. 日本三大庭園の1つ「後楽園」がある都道府県はどこ?

【答】 岡山県

Q 7. 花札は全部で48枚です。ではランプはジヨーカーをのぞくと全部で何枚でしょう?

【答】 52枚

Q 8. 夏目漱石が初めて書いた小説で、書き始めの部分がそのまま題名になっている作品は?

【答】 吾輩は猫である

Q 9. お父さんが嫌いな果物ってなあに?

【答】 パパイヤ

Q 10. 日本で開かれたオリンピックは、全部で何回あるかな? うるう年の一年は何日?

【答】 3回(東京、札幌、長野)、366日



家族揃っての参加を！

おつとめ奉仕人増加目指して

— 10月31日「一手一つ大会」開催 —

大教会では10月31日(日)「笠岡一手一つ大会」を開催する。

教祖130年祭に向かう一里塚として立教174年(平成23年)11月30日(水)大教会創立120周年記念祭がつとめられる。

平成21年創立記念祭三年千日スローガンとして「初代の心にかえり信仰の喜びを 深めよう 伝えよう 広げよう」を、その実践項目として「持ち場立場で日々理作り」「家族揃って教会参拝」「一日一件にをいがけ」が打ち出され現在、活動を進めている。

今回の大会は、大教会の教祖130年祭の目標である「おつとめ奉仕人の増加」に向け、この大会を通して各教会のおつとめ奉仕人として成人して欲しい若い層(少年会・学生会・青年会・婦人会の各会員)を対象(教会長不可)に、また来年迎える120周年記念祭のスケジュール、会場設定、模擬店、アトラクションなどの事前演習を目的に行われる。

「家族揃って教会参拝」の推進に向け1000人の参加を目標としている。

◎当日のスケジュール(現時点での予定)

- | | |
|-----------|---|
| 8 : 3 0 | 受付開始
参加者全員受付(食券・福引き券・大会ネーム入りティッシュ配布) |
| 9 : 3 0 | おつとめ奉仕人は神殿に集合 |
| 1 0 : 0 0 | おつとめ開始 |
| 1 2 : 0 0 | 終 了
大教会長様あいさつ
感話(2人) |
| 1 2 : 4 5 | 終了、着替え |
| 1 3 : 3 0 | アトラクション開始 |
| 1 4 : 3 0 | アトラクション終了
福引き開始 |
| 1 5 : 0 0 | 全て終了 |

◎おつとめ役割(奉仕人はおつとめ衣)

- | | |
|--------------|---------------|
| 座りつとめ・よろづよ八首 | = 直轄東ブロック |
| 1下り目・2下り目 | = 少年会 |
| 3下り目・4下り目 | = 福山分 |
| 5下り目・6下り目 | = 高屋分 |
| 7下り目・8下り目 | = 島根分 |
| 9下り目・10下り目 | = 直轄西ブロック・久松分 |
| 11下り目・12下り目 | = 上下分・府中市分 |
- ※各ブロックごとにおつとめまなび終了後、記念撮影(会議室)

八月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます
親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様には子供かわいい一条の親心のまにまに自由の御守護を賜り 日々結構に恙なくお連れ通り下さいます事は 誠に有難い極みでございます 中でも今は秋とは名ばかりの残暑厳しい中であつてのどや身体の渴きを癒す水の御守護 時々には涼しげな風の御守護 何より暑さに耐える身体の御守護を頂いております事は 誠に勿体ない極みでございます 私共は当り前の日は一日としてなく常に親神様の御守護の賜と朝夕に御礼申し上げると共に 世界一列を救きたいとの親心に少しでもお応えさせて頂きたいものと 御恩報じを念じて 夫々の持ち場立場を生かしつつ 日々はたすけ一条の御用の上に勤め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日は これの笠岡の理にお許し下さいました八月の月次祭を執り行う日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 たすけ心も一入に明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめさせて頂きます 御前には折からの酷暑も厭わず 今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が相共にお歌を唱和し 日頃の御高恩に改めて御礼申し上げ 尚も変わらぬ親心にお綴りする真実の状を御覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて今年も子供おちば帰りが開催され 連日大勢の子供達でおちばは大変にぎわいました 雨の日は一日だけであとは猛暑に見舞われ 熱中症が心配される中ではありましたが 大きな事故怪我もなく喜び一杯にお連れ通り下さいました事をお礼申し上げます 引き続き学生生徒修養会高校の部や大教会での英語講習会 加えて各教会でのおとまり会等も酷暑の中ではございましたが結構につとめさせて頂く事が出来ました 心より御礼申し上げます 引き続き又 野外錬成会や教会おとまり会をさせて頂きますので お連れ通りの程をお願い申し上げます

更には又来月は 月末に全教一斉にをいがけデーもありにをいがけ強調月とお示し下さっておりますので 拍車をかけるべく 本日は祭典に引き続き 布教推進講習会を開催させて頂きます 加えて八月二十九日には青年会が部属分会委員長錬成会を開催し そのまま来月五日まで全分会布教推進週間として 布教に邁進させて頂きますので それを活用し「一日一軒にをいがけ」の実践と併せて笠岡全体のにをいがけの勇みになるよう勤めさせて頂く所存でございます

何卒親神様には暑さにも世間の荒波にも負けず たすけ一条に邁進する皆の誠実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上にも尚も自由の御守護を賜り 一人でも多くの人に親心が伝わって人々の心が澄み切り 万互いにたすけあって 一日も早く陽気づくめの世の状に立て替わりますようお願いの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

◎感 話

山田敏教(甲井分)、北川祥江(稻倉分)

◎模 擬 店

- ・直轄東ブロック = フライドポテト
- ・直轄西ブロック = 唐 あげ
- ・福 山 分 = う ど ん
- ・高 屋 分 = ケ ー キ
- ・島 根 分 = 出雲そば
- ・上下分・府中市分 = お で ん
- ・婦 人 会 = おにぎり・お茶

◎アトラクション(中庭)

- ・よさこいソーラン節 = 各ブロックより10人参加
- ・少年会鼓笛演奏 = 直轄隊・福山隊・高屋隊・島根隊
- ・福 引 き

8月25日、全教水泳競技大会(天理教布教部主催)が天理プールで開催され、小倉将弘君(23歳、川島郷分教会よふぼく)が出場した。同教会長の甥である小倉君は50メートルと100メートル自由形の2種目にエントリー、両種目とも大会新記録で優勝という快挙を成し遂げ、岡山教区に2個の金メダルをもたらした。尚、小倉君は、今春の選抜甲子園大会に関西高校のトップバッターとして出場した小倉貴大君のお兄さんでもある。



※以下、香取会長からの観戦報告 ……………

今年で15回を迎えたこの大会には、全教から水泳の愛好者が参加し、競技は自由形と平泳ぎの個人2種目とリレーがそれぞれ10以上の年齢区分・男女別に行われますが、一つのプールでいくつものレースが実施されるので結構時間がかかります。しかも会場は、控室も観客席もどこもうだるような暑さで調整が大変だろうと思いました。

岡山教区青年会の松井前委員長から大会のパンフレットをいただくと、甥の今季自己ベストが大会記録を上回っていたので、優勝は間違いないと確信しました。しかし、選手層の厚い天理スポーツ界にはどんな人がいるか分からない。「油断するなよ」と忠告しておきましたが、その心配は無駄でした。レースが始まり、流れるような美しいフォームでぐいぐいと水をかき分けて力強く進んでいく彼の姿に、私は圧倒されました。

偶然にも同大会に出場されていた伊那大教会長様(修養科一期講師の同期)をお見かけし、話を伺うと「凄いですねエ。この大会で50メートルを24秒台なんて、初めてみましたよ」と舌を巻いておられました。

こどもおぢばがえりでの懐かしい「プールサイド行事」以来、久しぶりに座った天理プールのベンチは堅くて熱く、猛烈な直射日光に容赦なく照りつけられました。その夜、キリリと冷えた生ビールでの祝杯は、格別な味がしました。

教会おとまり会の報告

▼米府隊

実施日	平成22年6月5日・6日		
参加者数	少年会員5人	育成会員2人	合計7人
プログラム	5日	16:00	集合。
		17:30	夕食。
		18:30	夕づとめ。
		19:15	入浴(皆生OUランド)。
		23:30	就寝。
	6日	8:00	朝食。
	11:30	解散。	

▼亀田山隊

実施日 平成22年7月3日・4日
 参加者数 少年会員19人 育成会員3人 合計22人
 プログラム 3日 16:00 集合・ゲーム。
 18:30 夕づとめ。
 19:00 夕食。
 21:00 消灯。
 4日 6:00 起床。
 6:30 朝づとめ・ひのきしん。
 7:30 朝食。
 8:30 解散。
 所感 「こどもおぢばがえり」のお誘いを兼ねて実施。
 子供達にも喜んでもらえたようです。

▼天場山隊

実施日 平成22年7月24日・25日
 参加者数 少年会員4人 育成会員2人 合計6人
 プログラム 24日 18:30 夕食。
 19:00 夕づとめ。
 19:30 花火。
 20:00 入浴。
 21:00 消灯。
 25日 6:30 起床。
 7:00 朝づとめ。
 7:30 朝食。
 8:00 ゲーム。
 10:00 解散。
 所感 初めて参加の幼稚園児が親から離れて初めて一人で泊まりました。
 また参加してもらいたいです。

▼輝美濃隊

実施日 平成22年7月30日・31日
 参加者数 少年会員3人 育成会員5人 合計8人
 プログラム 30日 16:30 集合。
 18:30 夕づとめ・育成会長おはなし。
 19:15 夕食・入浴。
 21:30 就寝。
 31日 6:00 起床・洗面。
 6:30 朝づとめ・朝食。
 7:15 こどもおぢばがえり参加者合流。
 説明会。
 8:00 出発。
 所感 こどもおぢばがえり参加者の内、遠方(名古屋)の母子が前日から来会し、
 楽しい一晩を過ごす。
 教会内の事情(前会長夫人 高齢で手が掛かる)が治まる時が来ましたら、
 積極的にお泊り会を進めたいと思っています。

▼湯田原隊

実施日 平成22年8月1日・2日
 参加者数 少年会員2人 育成会員2人 合計4人
 プログラム 1日 16:00 集合・おつとめ練習・ゲーム。
 18:00 夕 食。
 18:30 夕づとめ。
 19:00 ゲ ー ム。
 20:00 入 浴。
 21:00 就 寝。
 2日 5:30 起 床。
 6:00 朝づとめ。
 6:30 朝 食。
 8:00 解 散。



所 感 子供おぢばがえりに行ってくれた子供が、泊りに来てくれてありがたかったです。
 私は、子供おぢば帰りから風邪ぎみで、少しつかれました。
 来年も子供おぢばがえりに行ってくれると思います。

大教会だより

◎第八三〇期修養科

自 立教173年6月1日
 至 立教173年8月27日

*教 養 掛

三ヶ月間 今川昌彦
 (大教会准役員)

一ヶ月目 福島大介
 (福満分教会長)

二ヶ月目 余村 健
 (多古浦分教会長)

三ヶ月目 渡邊 孝信
 (神驛分教会長)

*修 了 者

大恵山 山 中 理 右

米 府 織 田 英 昭

松 都 糸 川 道 之

笠 岡 上 原 元 子

笠 岡 伊 藤 美 保 子

前 期 立 教 173 年 9 月 14 日 終 講
 笠 岡 上 原 元 子

◎教会長資格検定講習会修了者



先日 同じ町内の民家が火事になり、消防団員として現場に駆けつけ、消火にあたった。木造の古い家で、火のまわりが早く、結局全焼してしまったのだが、ほぼ鎮火となったところで、この家に住む独り暮らしのお婆さんが居ないという事になり、まだ煙の上がる燃え残りの中を、放水をしながら皆で掘り返して懸命に捜した。一時間ほどしたところで、不幸にもお婆さんは焼け跡の中から見つかった。本当に火事の怖さを感じた。火というものは、大変大きな力を持った怖いものである。又、少し前には、隣の市で所謂ゲリラ豪雨が発生し、死者を含む大きな被害を出している。改めて水の大きな力を感じさせられた。海外では、ロシアの森林火災、パキスタンの大洪水と、違った規模の怖さを見せ付けられている。

火・水の働きは、生命を支える尊いものであると共に、本来畏れを感じるくらい偉大なものである。そのことを昔の人の方が、より感じて生きていたのではなからうか。現代人は、偉大なものを見失いがちである。

「火と水とは一の神」とお教え頂く私達は、ぬくみ・水気五分五分の御守護のなかに、生命そのものをお与え頂いていることを、心におさめさせて頂きたい。

(は)